

コード	40202
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	農地の保全と有効利用
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

基本事業の目的

家庭菜園の推進、本町の特産品である甘藷の栽培等による遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理を促進し、新規就農者等に対する農地の貸与や集積化等ができる体制づくりを推進することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	遊休荒廃地解消面積	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	解消面積(実績)／目標	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成21年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	4.0	目標達成数値	*****

年 度				H18	H19	H20	H21	H22
成果指標1	目標 A	単位	ha	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績 B		ha	0.6	2.4	4.8	5.8	
	達成率 B/A		%	15.0	60.0	120.0	145.0	
成果指標2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	町、県振興局、JA営農指導員と連携し各地区において、現地指導を行った。遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理の促進についても現地指導の中で働きかけ誘導を行った。新規就農者に対する農地の貸与や集積化等ができる体制づくりについては、農業委員会と連携し、農業委員等による貸与や集積可能な農地を明確にする作業を行っている。
	課題	家庭菜園については、高齢者が多く若者の関心が薄い。遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理の促進については、農地の貸与に対する地主の不安感と不在地主が多いため計画の行き詰まり感がある。新規就農者等に対する農地の貸与や集積化等ができる体制づくりについては、農業振興事業と合わせて実施していく中で、担当職員数に限りがあるため思うように進まない。
	改善	家庭菜園推進については、定年退職者層への誘導を図るものとする。遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理の促進については、農作業の機械化の普及を図る必要がある。新規就農者等に対する農地の貸与や集積化等ができる体制づくりについては、町の基本構想による農地利用集積化事業を踏まえつつ、農地の再活性化を図る。

2次評価	遊休農地・荒廃地の有効利用について、地元焼酎原料として甘藷の栽培用地への利用も進んではいるが、遊休地等の貸与の仕組みの制度化を図り、就農希望者へスムーズに貸与ができるよう関係する団体等と連携しながら進めること。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。